ウィズコロナ時代を生き抜くヒントを学ぶ

～商業部会（和田晋弥部会長）～
9月26日（参加者12名）

コーチング型中小企業診断士・Office Koyama代表の小山 直久 氏を講師に招き、「あなたの中に宝物がある！～ウィズコロナ時代の経営力・事業再構築のヒント～」と題した講演会を開催しました。

小山氏は、補助金申請をはじめ多くの事業所支援に携わってきた経験を基に、事業の立て直しや新分野進出を検討する際のポイントとして、自社の強みや優位性を客観視することや、経営理念やビジョンに立ち返ることの大切さなどを説明しました。

建設業の新しい働き方「建設ディレクター」を学ぶ

～建設・不動産業部会（本間達郎部会長）～
9月20日（参加者39名）

（一社）建設ディレクター協会 新井 恭子 理事長を講師に迎え、「建設業の担い手確保に向けた新しい働き方～建設ディレクター～」と題するセミナーを開催しました。

新井氏は、現場技術者の負担となる書類業務を「建設ディレクター」とよばれるバックオフィスがワークシェアをすることで、技術者の長時間労働の軽減に繋がることを説明しました。また、建設業界の喫緊の課題である働き方改革に対して、「建設ディレクター」などの新しい職域を設置することで、女性を含む多様な人材の活躍する場を広げ、新規雇用や業界の活性化に繋げていくことが重要であると強調しました。

世界遺産登録に向けた取組・佐渡観光の現状を学ぶ

～観光業部会（星野佳人部会長）～
9月29日（参加者20名）

「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けて、今後の流れや、佐渡市における観光の現状等について学ぶため、佐渡市 観光振興部 観光政策監の小林 大吾 氏を講師に迎え、講演会を開催しました。小林氏は「世界遺産登録後も継続して観光客数を伸ばすために、金山以外の魅力を高めていく必要がある。年間を通じて観光客が楽しめるようなレジャー等のコンテンツを作り、受け入れ環境の整備を進めることで、リピーターの確保に繋げていくことが必要」と説明しました。

鎌倉市、横浜市を訪問

～まちづくり委員会（阿部正喜委員長）～
10月５日～６日（参加者６名）

鎌倉・横浜方面の視察見学会を開催しました。

初日は、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会事務局より、この度の大河ドラマ放送における観光戦略について説明を受けました。

二日目は、横浜市のみなとみらいイノベーションセンター（㈱村田製作所）内に開設されている体験施設Mulabo!（ムラーボ）」を視察しました。その後、昭和レトロな街並みが魅力の六角橋商店街で、神奈川大学の学生と連携したイベント運営や、行政と連携して策定したまちづくりルールについて説明を受けました。

SDGsを道しるべに～求められる「変革」～

～教育福祉医療部会（渡邉毅部会長）～
9月28日（参加者25名）

三井住友海上 経営サポートセンター 経営リスクアドバイザー 目黒 ゆかり 氏を講師に、「SDGsを道しるべとする21世紀型経営への変革～SDGsの取組で新たなビジネスチャンスを～」と題し、講演会を開催しました。ビジネスのあり方について根本的な変革が求められており、これからは「社会課題を解決しながら、社会との共通価値の創造を実現するビジネスモデルに変えていくことが重要である」と解説しました。

FDAで行く神戸～アシックスの創業哲学等を学ぶ～

～教育福祉医療部会（渡邉毅部会長）～
10月13日～10月14日（参加者14名）

新潟からの新規就航路線である神戸線を利用した視察見学会を開催し、㈱アシックス及びアシックススポーツミュージアムを見学しました。ブランドのキーメッセージとして活かされている創業哲学や同社の歴史、研究活動等について学びました。また今後のビジョンについて、「デジタル」「パーソナル」「サステナブル」が重要テーマであるとし、具体的な取組について説明を受けました。

支社長・支店長・営業所長等の交流懇談会
9月26日（参加者53名）

県内外から赴任している支社長・支店長・営業所長等と当所役員との交流懇談会を開催しました。

はじめに、「新潟の気候・風土が織り成す おしゃべりな野菜」をテーマに、食と料理の研究家 木村 正晃氏が新潟の食文化や野菜について気候や地形などと結びつけながら講演しました。その後の懇談会では、地酒と料理を楽しみながら、活発な情報交換を行い相互の交流を深めました。

古町どんどんにブースを出展
10月15日～10月16日

10月15日・16日の２日間、古町５番町から９番町を会場に行われる恒例の「古町どんどん」が開催されました。当日は、３年ぶりにステージイベントが実施され、NegiccoのNao☆さんの復活ライブや、RYUTist、今年８月にデビューした新潟発のアイドルグループcourtesea（コーテシー）、古町芸妓連などが出演し、会場は沢山の人で盛り上がりました。また、飲食テーブル席も復活し会場内の飲食店ブースで購入したものをその場で楽しむ方々で賑わっていました。

当所は、古町芸妓と等身大パネルの前で記念撮影を行うブースを設置し、SNSに投稿した方に特製マスクチャームをプレゼント、多くの方に古町芸妓を発信していただきました。来場者からは、「古町芸妓に会うことができてよかった」、「県外から来たが、新潟に芸妓さんがいるとは思わなかったので、存在を知れてよかった」等の声が寄せられました。

「復活！古町芸妓の練り歩き」を開催
10月９日

当所と新潟市新しい観光スタイル推進協議会の共催で「復活！古町芸妓の練り歩き」イベントを開催しました。

このイベントは、江戸時代に白山神社の祭礼に合わせてあでやかな着物姿の芸妓たちが列をつくって練り歩き、それを目当てに遠方からも多くの人々が見学に訪れたという行事を再現したもので、昨年に続き２回目の開催となります。

当日は古町７番町に設置した特設ステージでオープニングセレモニーを行い、古町芸妓が踊りを披露したあと、古町芸妓12名と公募により選ばれた一般参加者10名の、総勢22名が商店街（古町通7～5番町）を練り歩きました。

沿道にはその様子を見るために多くの観客が集まり、芸妓と一般参加者による華やかな行列を写真に収めていました。

全商女性連福島全国大会に参加「次回開催地新潟をPR!」
～女性会（竹林昭代会長）～
10月７日～10月８日

全国から女性会会員約1,500名が郡山市に集まり、全国大会が開催され、当所女性会からは21名が参加し、交流を深めました。次回（来年）全国大会開催地として新潟のPR映像の上映や佐野新潟女性会副会長（当時）の挨拶のもと新潟のPRを舞台上で行いました。

また、次回開催地への全国女性会連合会旗引渡しが行われ、市瀬全商女性会会長から佐野新潟女性会副会長へ引き渡されました。